



令和4年度 グランドデザイン 野木中学校の教育

<沿革> 昭和22年 野木村立野木中学校設立 昭和38年 町制施行 野木町立野木中学校に 昭和42年 現校舎地へ移転 平成10年 新校舎完成 2022年度で創立76周年

保護者・生徒対象アンケートから

- ・わかる授業を展開してほしい
- ・学校の様子が伝わってこない
- ・いじめのない学校にしてほしい

学力調査等の結果から

- ・学力は全国平均、県平均とほぼ同等。基礎基本の定着が大きな課題。
- ・学習に向かう意識は高まりを見せてきたが、学力の二極化が課題。
- ・テレビやDVD等を1日2時間以上見ている生徒が多いという実態。
- ・タブレットなど、ICTの活用には慣れ始めてきている。急なオンラインでの家庭とのやりとりも問題なくこなしている。

学校教育目標			
健康で体力のある生徒	進んで学習し学力を高める生徒	礼儀正しく豊かな心をもつ生徒	勤労を愛好し責任を果たす生徒
目指す生徒像			
・心身の健康に関心を持ち、自分を成長させようとする生徒	・自ら進んで学習に取り組み、学力を高めようとする生徒	・時と場に応じた挨拶ができる生徒 ・想像力豊かで、互いに思いやることのできる生徒	・清掃や係活動等に積極的に取り組む生徒
努力目標			
・健康と安全を第一に考えられる態度・習慣の育成 ・運動に親しみ、積極的に心身を鍛えることができる教育活動の推進	・ねらいが明確で生徒の関心・意欲を高める授業の工夫 ・言語活動の活性化を図り、思考力・判断力・表現力を高める学習指導の工夫 ・主体的な学習態度・学習習慣の育成	・職員自ら、時と場に応じたさわやかな挨拶の励行 ・自他の生命を尊重し、互いに思いやることのできる心の育成 ・豊かな想像力を育成するための教育活動の工夫	・自問清掃のより一層の推進 ・生徒会活動等、生徒の自治的活動の充実

教育の動向、社会からの要請から

- ・学習指導要領の趣旨を深く理解し、生きる力をはぐくむ教育課程を編成、実施する。
(効果的なICT機器の活用)
- ・栃木県、野木町の教育施策を諸教育活動に生かす。
野木町：幼保小連携強化、言の葉教育の充実、ICTを活用した教育の充実
- ・学力調査等の結果を分析し、即授業改善へとつなげる。
- ・学校評価の結果や地域の思いを反映した学校運営に努める。

スローガン

さわやかなあいさつ

文武両道 光る汗!

本年度の主な重点目標

- 学びのユニバーサルデザイン化の積極的推進・・・通常学級における特別支援教育の充実
- ねらいを明確にしたわかる授業の展開 → 学校課題「学びに向かう力づくり」～生徒の実態を把握した学習支援や指導の工夫～
- いじめや不登校等の未然防止
- 教職員の資質・能力の向上・・・豊かで温かな言葉かけのできる教職員を目指す
- 本校教育の成果(生徒の姿)の積極的な発信

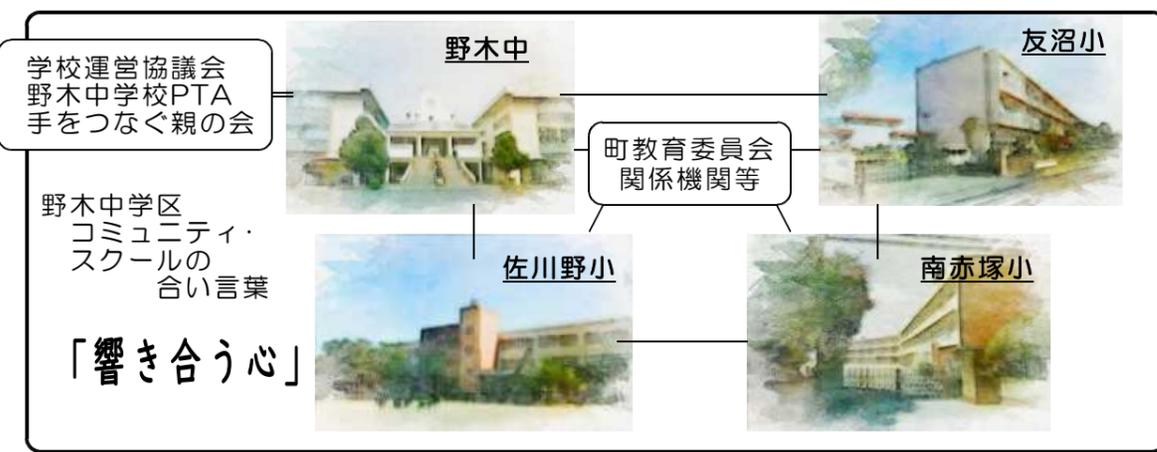
目指す教師像

「常に生徒を主役として捉え、生徒と共に歩む教師 (教育的愛情と情熱)」

<生徒と共に歩むために・・・>

- ・研究、修養に努め、成長し続ける教師
- ・生徒にとってのゲートキーパーとなる教師
ゲートキーパーとは：寄り添って受け止めて信頼できる人につなげる人
- ・温かな言葉かけで生徒の心を鍛える教師
- ・いじめ等を見抜き、生徒の安全、安心を確保できる教師

野木中学校はコミュニティ・スクールです。野木中学区で協働して、支えられて、地域に開かれた学校づくりに努めます。



在籍生徒数 令和4年5月1日現在

学年	学級数	男	女	計
1	3	43	38	81
2	4	54	59	113
3	4	65	47	112
知的学級	2	10	5	15
自閉症・情緒学級	3	11	6	17
合計	16	183	155	338

今年度の主な学校行事

4月 8日	始業式・入学式
5月13日～	地区春季大会
6月24日	合唱コンクール
6月29日～7月1日	3年修学旅行
7月15日～	地区総合体育大会
7月20日	第1学期終業式
9月 1日	第2学期始業式
9月10日	秋季大運動会
10月 6日～	いちご一会とちぎ国体
10月13日～	地区新人大会
10月21日	潤心祭
12月23日	第2学期終業式
1月10日	第3学期始業式
2月 3日～4日	2年立志スキー
3月10日	卒業式
3月24日	修了式



野木中の新体育館が国体のハンドボール会場となります。



<部活動> 陸上競技、野球、ソフトボール、サッカー、ソフトテニス(男女)、卓球、剣道、柔道、水泳、ハンドボール(男女)、弓道、吹奏楽、文芸

教職員 県費37名、町費5名 計42名 (2名育休中)

野木中学校ホームページ →

